

令和3年

少年補導の概況



長野県警察本部人身安全・少年課

目次

第1	非行少年	1	第3	特別法犯少年	9
第2	刑法犯少年	2	第4	触法少年	10
1	罪種別	2	1	触法少年（刑法）	10
2	学職別	2	2	触法少年（特別法）	10
3	年齢別	3	第5	不良行為少年	11
4	再犯者率	4	第6	少年の被害状況	12
5	共犯率	4	1	刑法犯被害少年	12
6	非行月別	5	2	児童売春・児童ポルノ被害	13
7	時間帯別	5	3	児童虐待	13
8	曜日別	6			
9	動機・原因	6			
10	初発型非行	7			
11	女子の非行	8			
(1)	占有率・罪種別	8			
(2)	学職別	8			

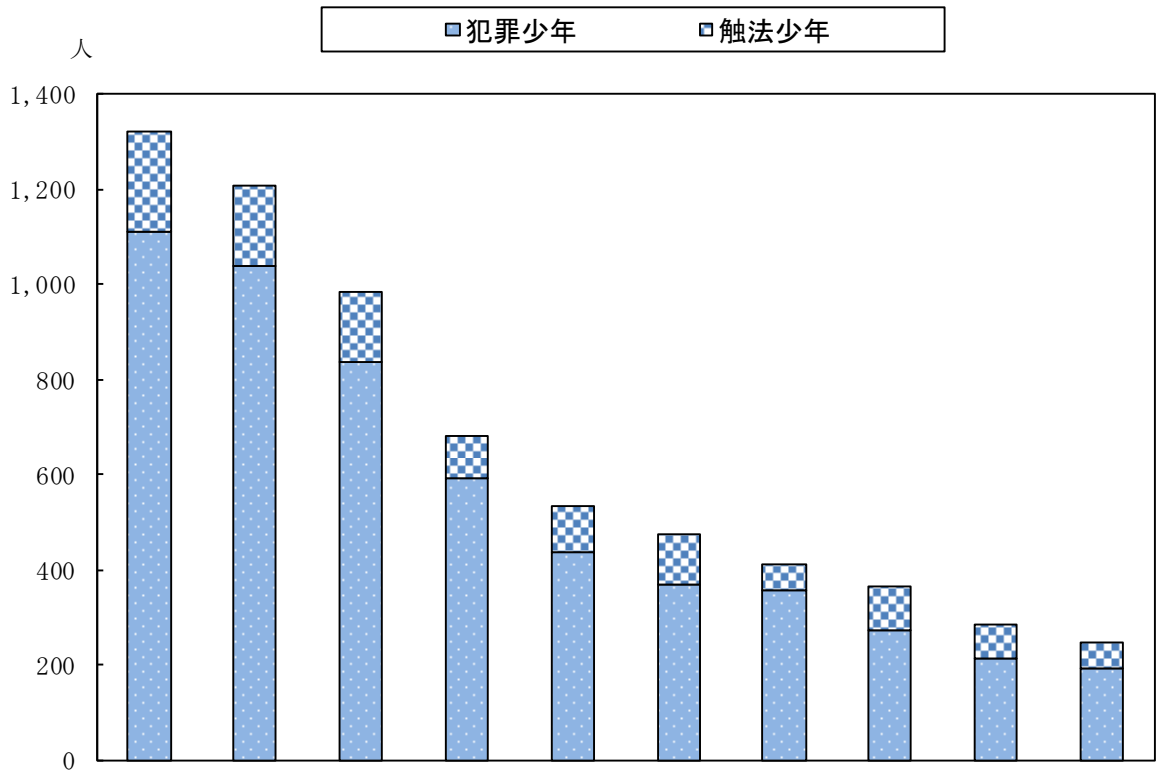
凡例

- 少年……………20歳未満の者をいう。
- 犯罪少年……………14歳以上20歳未満で罪を犯した少年をいう。
- 触法少年……………14歳に満たないで刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。
- ぐ犯少年……………保護者の正当な監督に服しない性癖があるなど、一定の事由があつてその性格又は環境に照して、将来、罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年をいう。
- 非行少年……………犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年をいう。
- 不良行為少年……………非行少年には該当しないが、飲酒、喫煙、深夜はいかひその他自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年をいう。
- 刑法犯少年……………刑法犯の罪を犯した犯罪少年で、犯行時及び処理時の年齢とともに14歳以上20歳未満の少年をいう。
- 触法少年（刑法）……………刑法犯の罪に触れる行為をした触法少年をいう。
- 特別法犯少年……………特別法犯の罪を犯した犯罪少年で、犯行時及び処理時の年齢とともに14歳以上20歳未満の少年をいう。
- 触法少年（特別法）……………特別法犯の罪に触れる行為をした触法少年をいう。
- 凶悪犯……………殺人、強盗、放火及び強制性交等の犯罪の総称をいう。
- 粗暴犯……………暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合の犯罪の総称をいう。
- 知能犯……………詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職及び背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」違反の犯罪の総称をいう。
- 風俗犯……………賭博及びわいせつ（強制わいせつ及び公然わいせつ）の犯罪の総称をいう。
- 初発型非行……………万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領の犯罪の総称をいう。

※本資料の構成比については、四捨五入した数値であるため、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

第1 非行少年

非行少年の検挙・補導人員総数は、令和3年は249人と、前年より37人(12.9%)減少し、統計を取り始めた昭和24年以降最少となり、平成24年の18.8%まで減少しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
非行少年総数 (人)	1,323	1,215	989	686	536	482	414	366	286	249
犯罪少年	1,112	1,038	839	593	436	370	357	272	213	195
刑法犯	1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
特別法犯	105	117	123	98	91	72	78	58	67	59
触法少年	208	171	144	88	98	103	54	94	72	54
刑法犯	182	146	135	77	95	85	46	89	68	48
特別法犯	26	25	9	11	3	18	8	5	4	6
小計	1,320	1,209	983	681	534	473	411	366	285	249
刑法犯	1,189	1,067	851	572	440	383	325	303	214	184
特別法犯	131	142	132	109	94	90	86	63	71	65
ぐ犯少年	3	6	6	5	2	9	3	0	1	0

第2 刑法犯少年

1 罪種別

刑法犯少年の罪種別では、令和3年は凶悪犯の検挙人員が6人と、前年より4人(200.0%)増加しています。

区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
凶悪犯	2	3	13	5	5	6	4	3	2	6
粗暴犯	88	96	56	71	47	33	35	21	24	23
窃盗犯	632	549	431	282	181	184	166	143	87	83
知能犯	62	75	61	48	37	25	15	8	8	9
風俗犯	4	2	5	4	5	6	4	5	2	4
その他	219	196	150	85	70	44	55	34	23	11

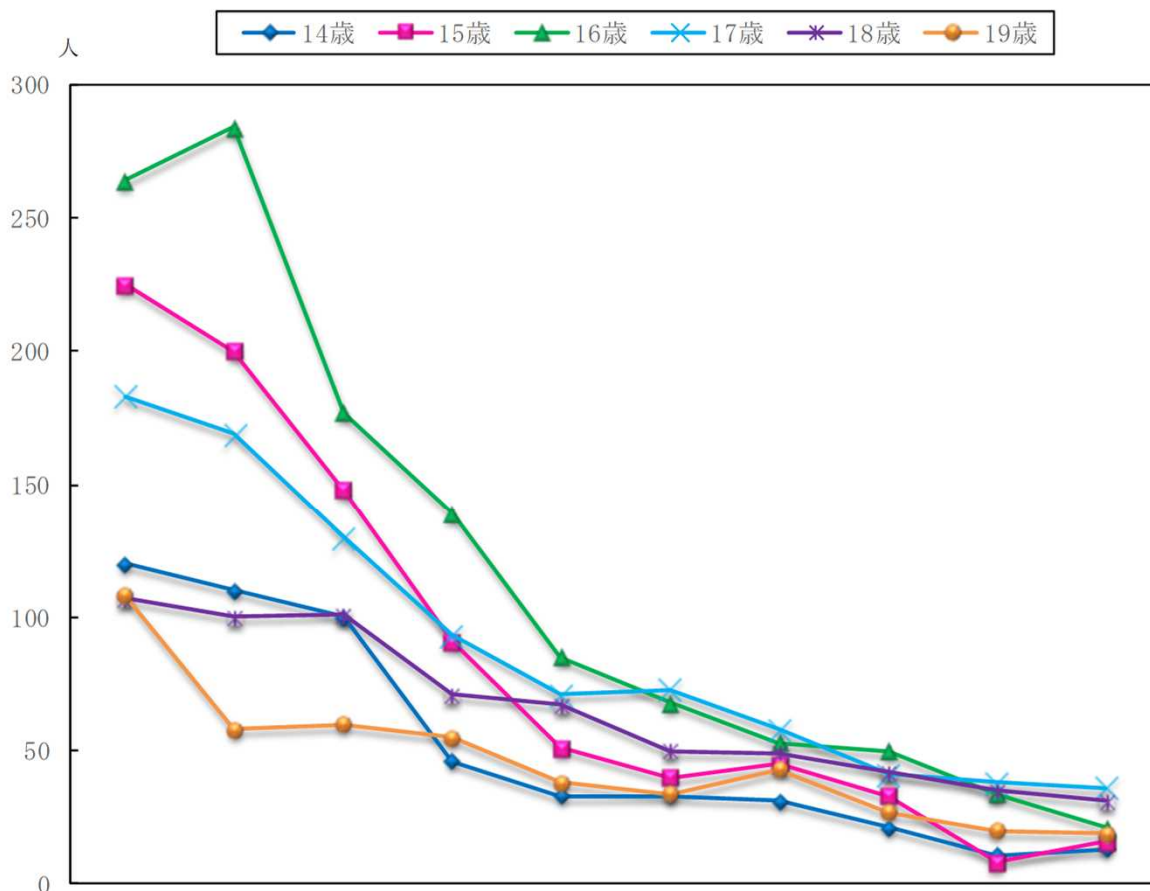
2 学職別

刑法犯少年の学職別では、令和3年は中校生の検挙人員が21人と、前年より7人(50.0%)増加しています。

区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
中学生	206	177	160	64	45	47	39	26	14	21
構成比(%)	20.5	19.2	22.3	12.9	13.0	15.8	14.0	12.2	9.6	15.4
高校生	528	513	361	281	186	154	142	109	70	65
構成比(%)	52.4	55.7	50.4	56.8	53.9	51.7	50.9	50.9	47.9	47.8
その他の学生	73	39	37	21	18	17	17	9	6	9
構成比(%)	7.2	4.2	5.2	4.2	5.2	5.7	6.1	4.2	4.1	6.6
有職少年	103	119	84	72	55	56	53	46	36	32
構成比(%)	10.2	12.9	11.7	14.5	15.9	18.8	19.0	21.5	24.7	23.5
無職少年	97	73	74	57	41	24	28	24	20	9
構成比(%)	9.6	7.9	10.3	11.5	11.9	8.0	10.0	11.2	13.7	6.6

3 年齢別

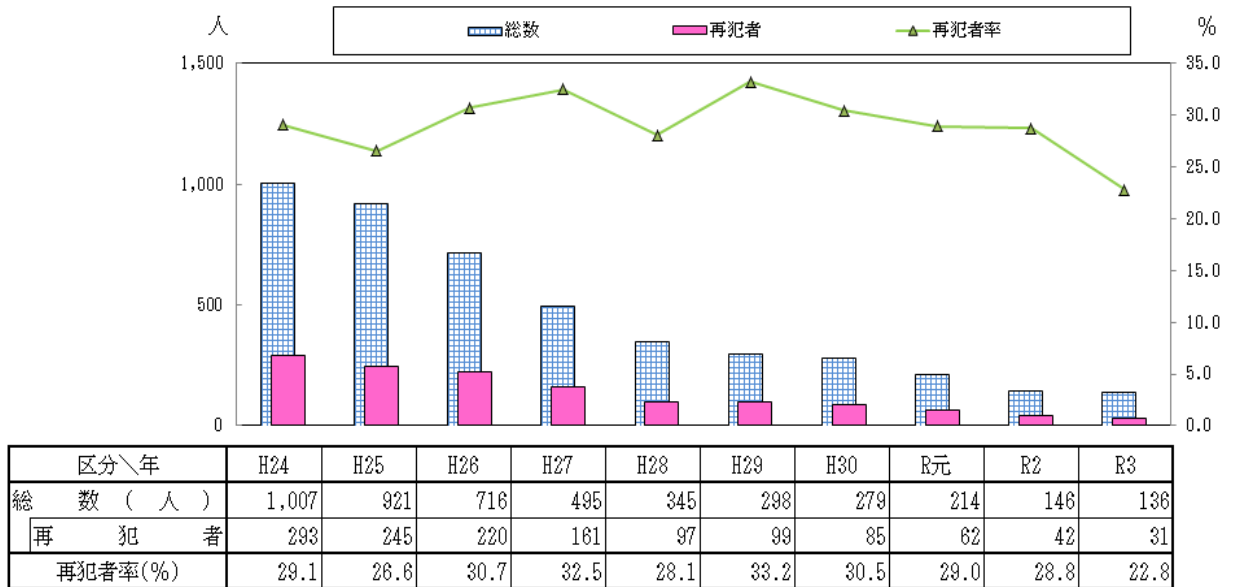
年齢別の検挙人員は、令和3年は17歳が36人と最も多く総数の26.5%を占めている。



区分\年		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数 (人)		1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
14歳	人員	120	110	100	46	33	33	31	21	11	13
	人口比	5.6	5.2	4.8	2.2	1.6	1.7	1.6	1.1	0.6	0.7
15歳	人員	225	200	148	91	51	40	45	33	8	16
	人口比	10.6	9.4	7.0	4.4	2.5	1.9	2.3	1.7	0.4	0.9
16歳	人員	264	284	177	139	85	68	53	50	34	21
	人口比	12	13.4	8.3	6.6	4.0	3.3	2.6	2.5	1.8	1.1
17歳	人員	183	169	130	93	71	73	58	41	38	36
	人口比	8.4	8.0	6.1	4.4	3.3	3.5	2.8	2.0	1.9	1.8
18歳	人員	107	100	101	71	67	50	49	42	35	31
	人口比	5.2	4.7	4.9	3.4	3.2	2.4	2.4	2.1	1.7	1.6
19歳	人員	108	58	60	55	38	34	43	27	20	19
	人口比	6.0	2.8	2.9	2.8	2.1	1.7	2.1	1.3	1.0	1.1

4 再犯者率

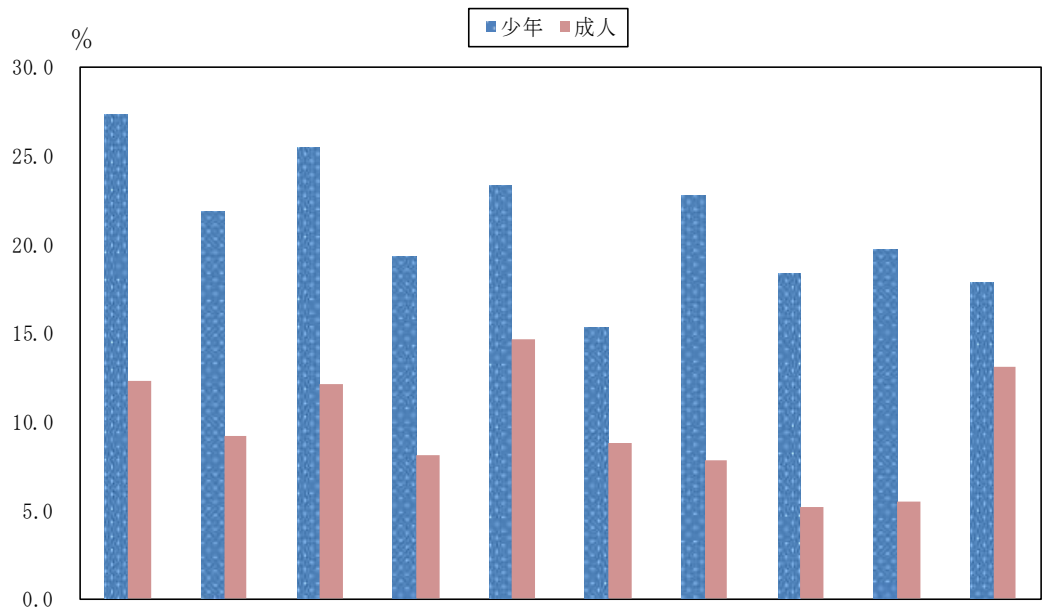
再犯者率は、令和3年は、22.8%と、前年より6.0%ポイント減少しています。



注：再犯の罪種は、同一罪種とは限らない。

5 共犯率

共犯率は、令和3年は少年が17.9%と、前年より1.8ポイント減少しています。

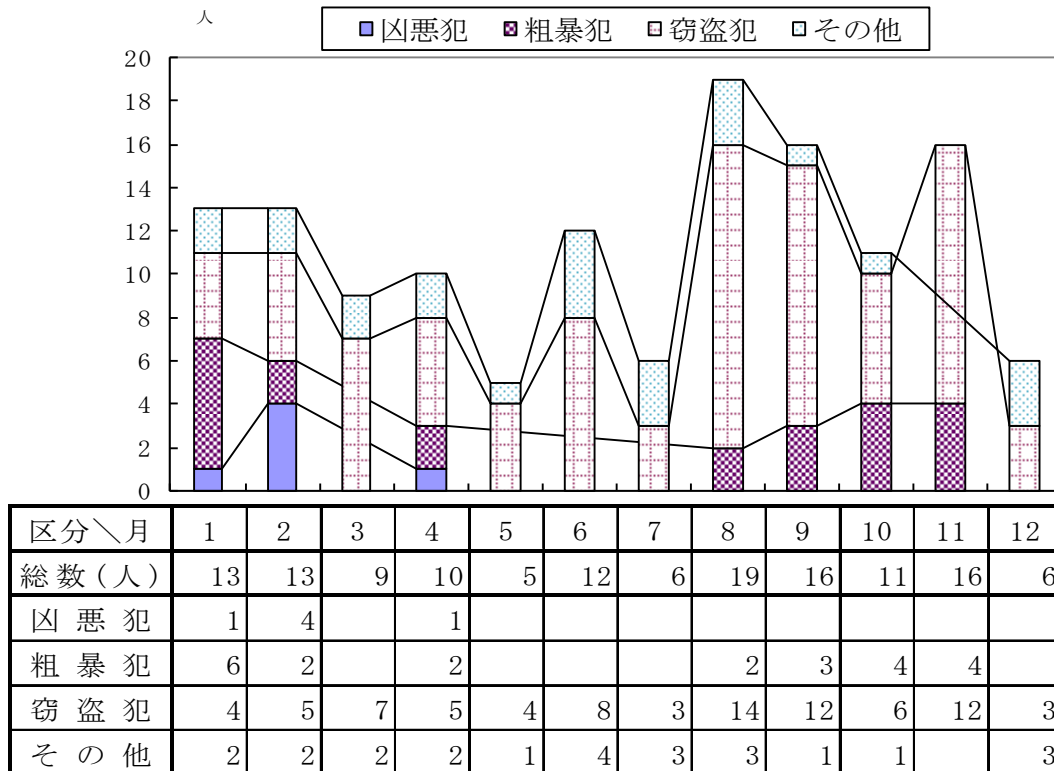


区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
少年(%)	27.3	21.9	25.5	19.3	23.3	15.3	22.7	18.4	19.7	17.9
成人(%)	12.3	9.2	12.1	8.1	14.7	8.8	7.8	5.2	5.5	13.1

注：共犯率とは、刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合をいい、少年と成人の共犯事件は含まない。

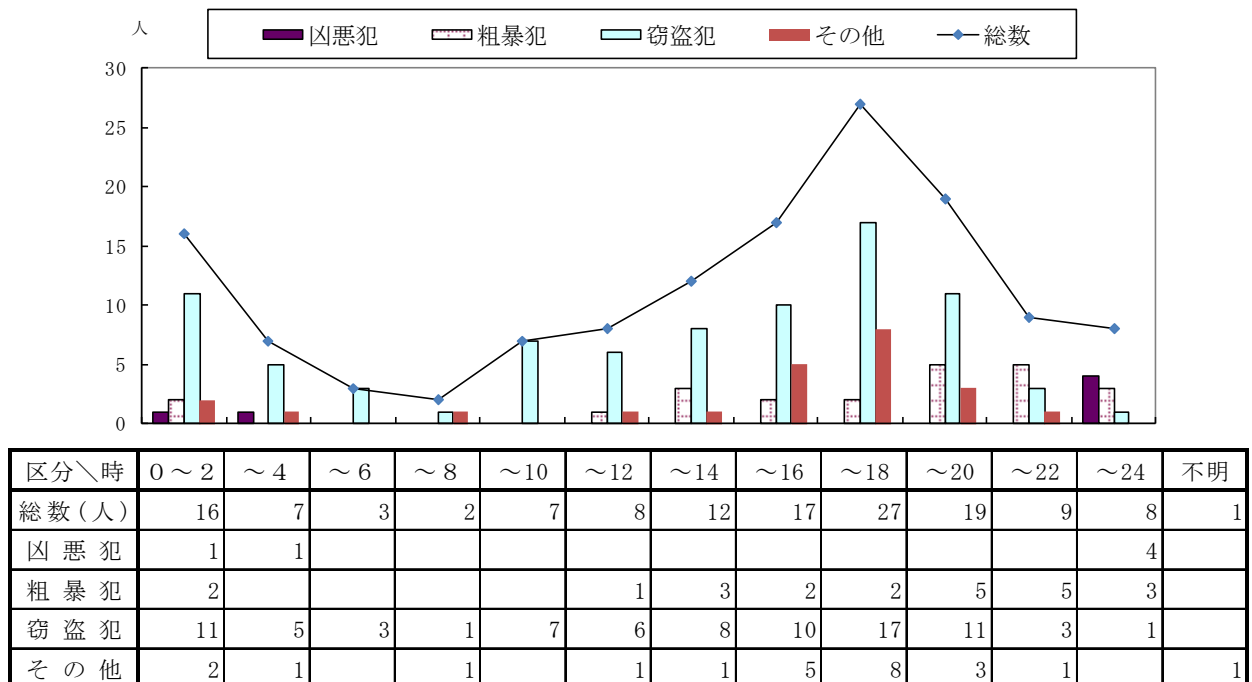
6 非行月別

非行月別では、8月の検挙人員が19人と最も多い。



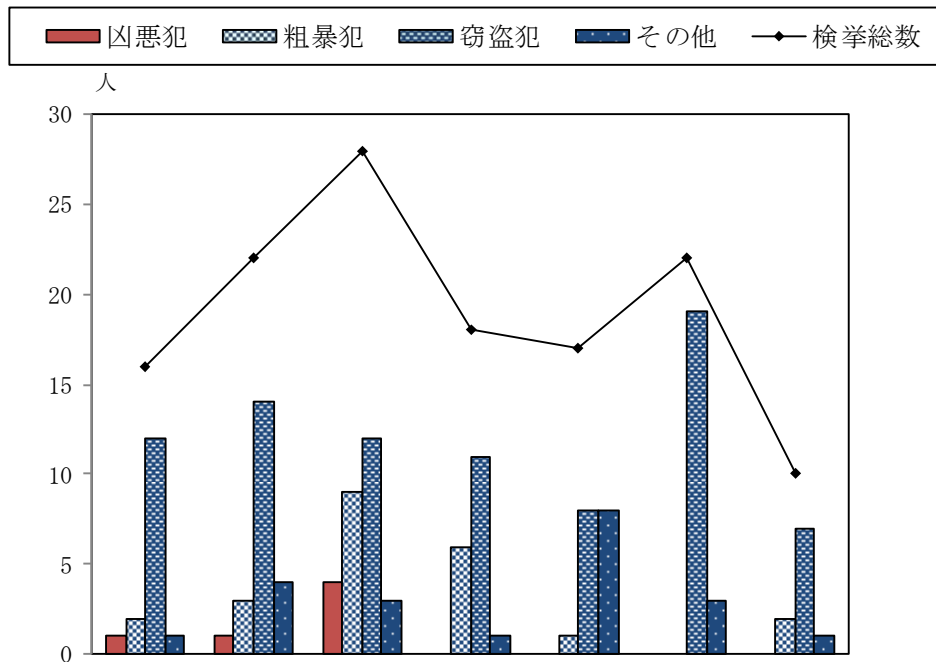
7 時間帯別

時間帯別では、17時から19時までの間の検挙人員が27人と最も多い。



8 曜日別

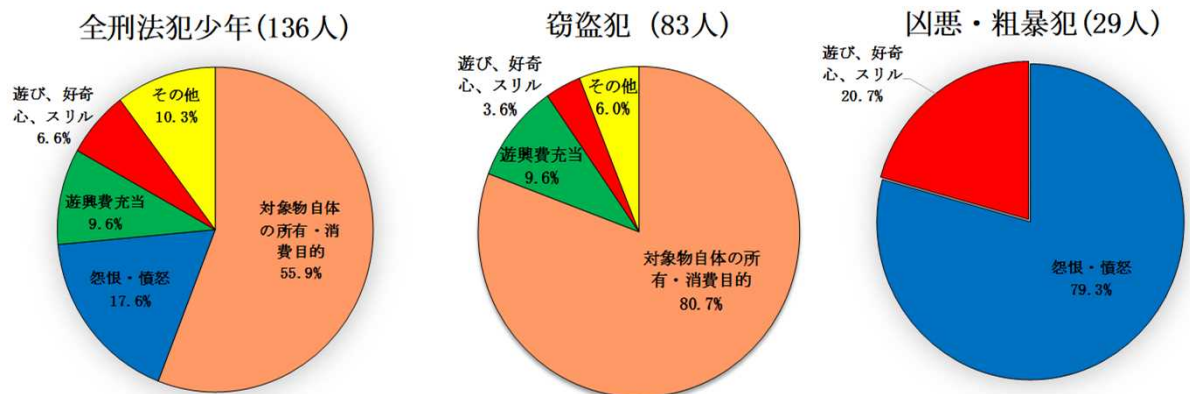
曜日別では、火曜日の検挙人員が28人と最も多い。



区分\曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明
総数(人)	16	22	28	18	17	22	10	3
凶悪犯	1	1	4					
粗暴犯	2	3	9	6	1		2	
窃盗犯	12	14	12	11	8	19	7	
その他	1	4	3	1	8	3	1	3

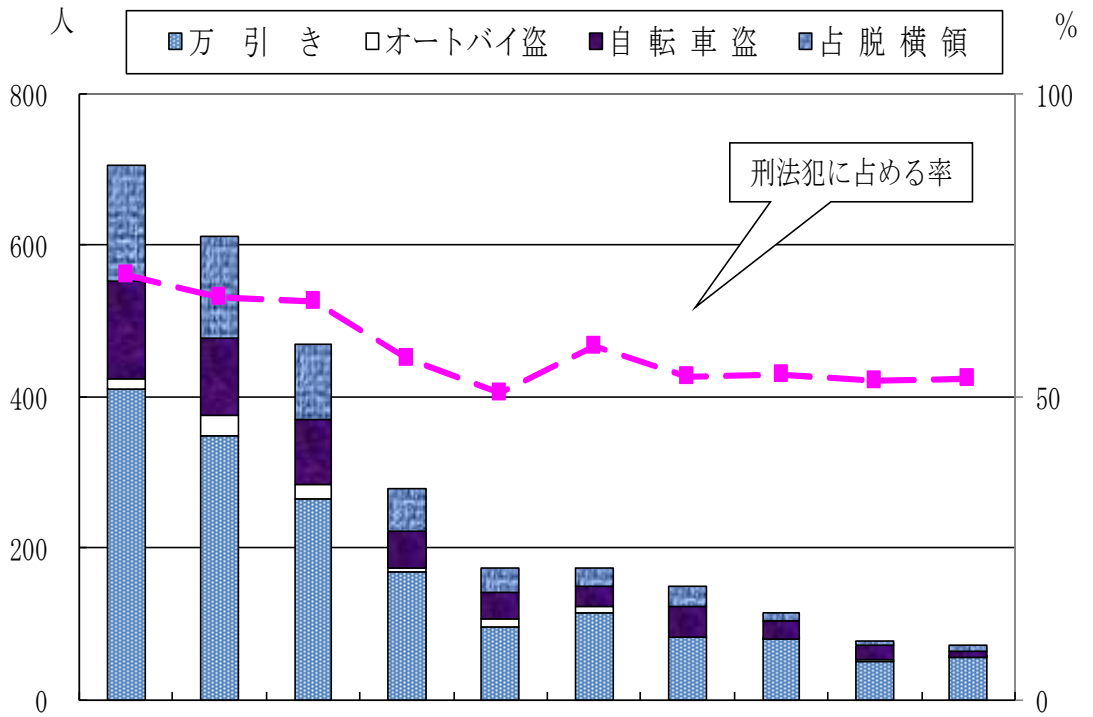
9 動機・原因

動機・原因別では、令和3年は、全刑法犯少年及び窃盗犯は、対象物自体の所有・消費目的が最も多く、全刑法犯は55.9%、窃盗犯が80.7%を占め、凶悪・粗暴犯は、怨恨・憤怒が最も多く、79.3%を占めています。



10 初発型非行

初発型非行では、令和3年は検挙人員が72人と、前年より5人（6.5%）減少しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
初発型非行総数	705	610	470	278	175	174	149	115	77	72
刑法犯占有率%	70.0	66.2	65.6	56.2	50.7	58.4	53.4	53.7	52.7	52.9
万引き	409	348	264	169	96	116	83	79	50	56
オートバイ盗	15	27	20	6	11	7		1	2	1
自転車盗	128	102	86	47	36	26	39	25	20	8
占脱横領	153	133	100	56	32	25	27	10	5	7

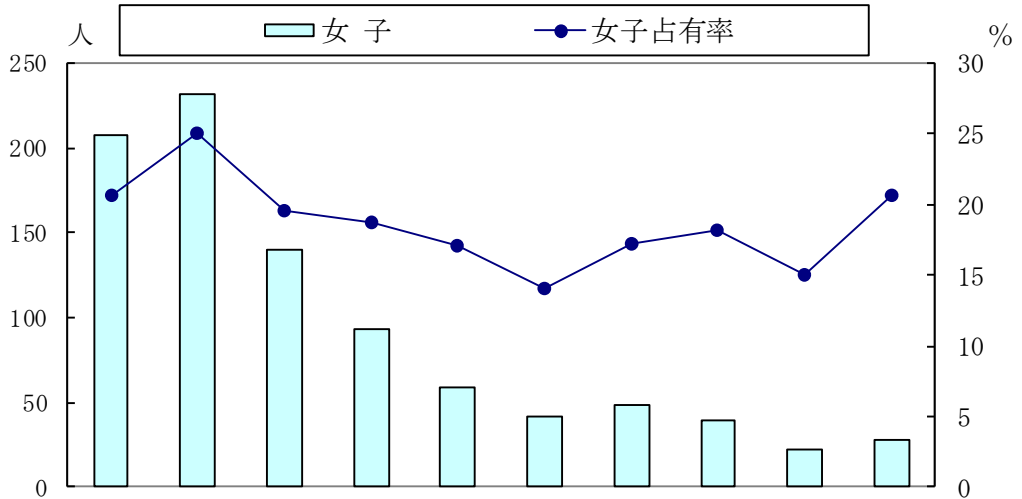
11 女子の非行

女子の非行では、令和3年は28人と、前年より6人（27.3%）増加しています。

(1) 占有率・罪種別

占有率では、令和3年は20.6%と、前年より5.5ポイント増加しています。

罪種別では、すべての罪種が増加しています。

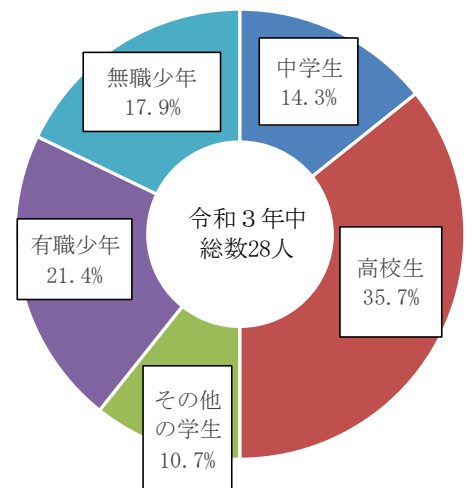


区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	1,007	921	716	495	345	298	279	214	146	136
女子	208	231	140	93	59	42	48	39	22	28
女子占有率%	20.7	25.1	19.6	18.8	17.1	14.1	17.2	18.2	15.1	20.6
凶悪犯										2
粗暴犯	9	7	10	14	3		5			3
窃盗犯	129	146	86	39	34	31	30	32	20	22
知能犯	45	52	26	28	15	9	5	3		1
その他	25	26	18	12	7	2	8	4	2	

(2) 学職別

女子の学職別では、令和3年は中学生の検挙人員が4人と、前年より4人増加しています。

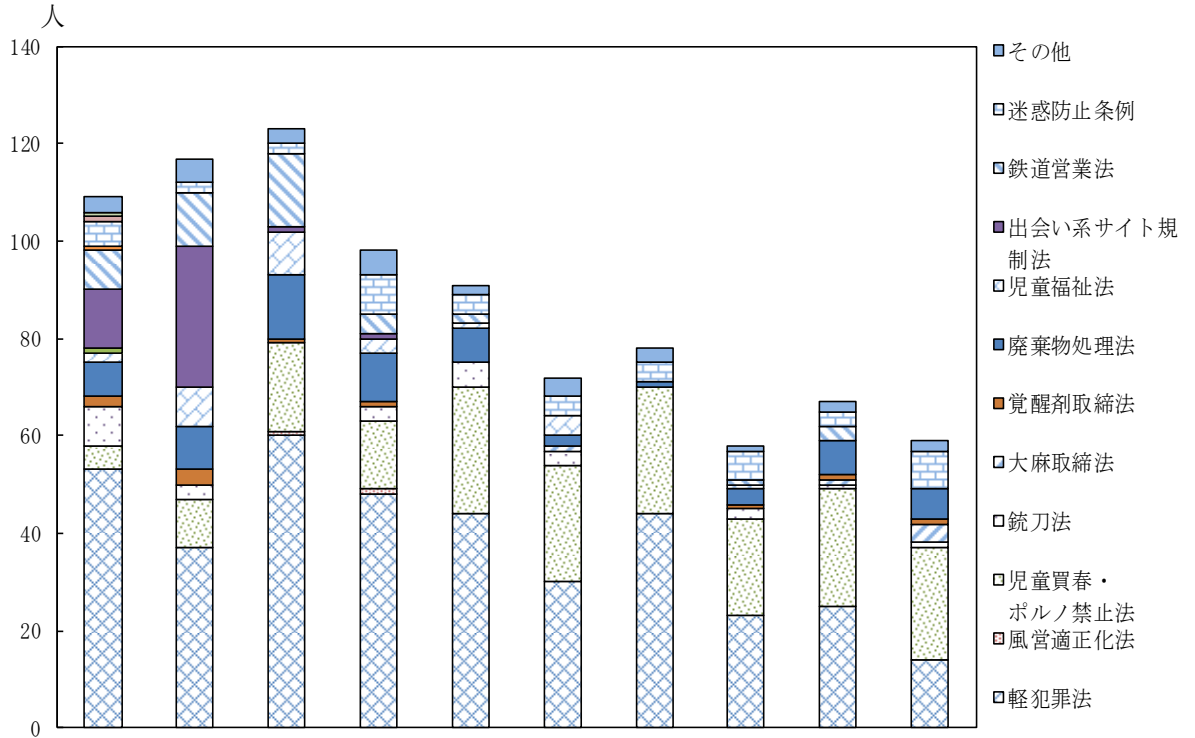
区分\年	R2	R3	増減数・増減率%
刑法犯女子 少年総数	22	28	6 27.3
学	中学生	0	4 4
	高校生	13	10 -3 -23.1
	その他の学生	2	3 1 50.0
生	有職少年	4	6 2 50.0
	無職少年	3	5 2 66.7
	18.2	21.4	3.2
	13.6	17.9	4.3



注：下段は構成比 (%)

第3 特別法犯少年

特別法犯少年の検挙人員は、令和3年は59人と、前年より8人（11.9%）減少しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数	105	117	123	98	91	72	78	58	67	59
軽犯罪法	53	37	60	48	44	30	44	23	25	14
風営適正化法			1	1						
児童買春・ポルノ禁止法	5	10	18	14	26	24	26	20	24	23
銃刀法	8	3		3	5	3		2	1	1
大麻取締法						1			1	4
覚醒剤取締法	2	3	1	1				1	1	1
廃棄物処理法	7	9	13	10	7	2	1	3	7	6
児童福祉法	2	8	9	3	1	4		1		
出会い系サイト規制法	12	29	1	1						
鉄道営業法	8	11	15	4	2			1	3	
迷惑防止条例	5	2	2	8	4	4	4	6	3	8
その他	3	5	3	5	2	4	3	1	2	2

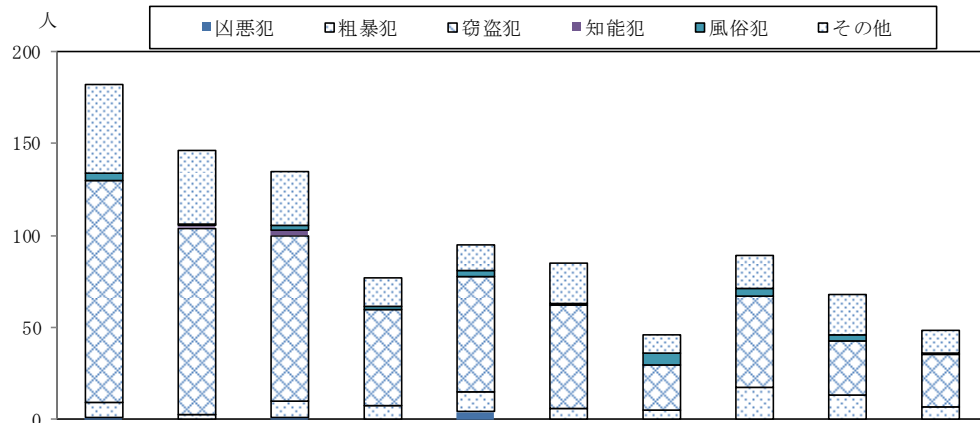
注1：道路交通関係法令違反は除く。

注2：令和3年中の「その他」は、麻薬等取締法1人、著作権法1人

第4 触法少年

1 触法少年（刑法）

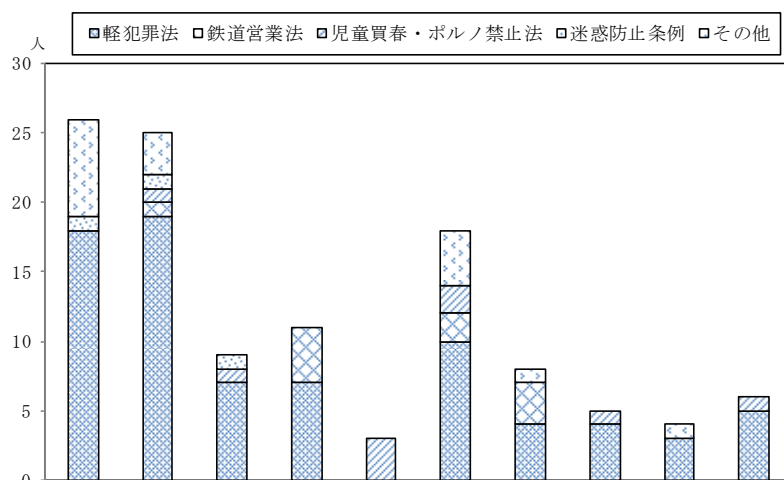
触法少年（刑法）の補導人員は、令和3年は48人と、前年より20人（29.4%）減少しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	182	146	135	77	95	85	46	89	68	48
凶悪犯	1		1		4					
粗暴犯	8	3	9	8	11	6	5	17	13	7
窃盗犯	121	101	90	52	63	56	25	50	30	28
知能犯		1	3							
風俗犯	4	1	2	1	3	1	6	4	3	1
その他	48	40	30	16	14	22	10	18	22	12

2 触法少年（特別法）

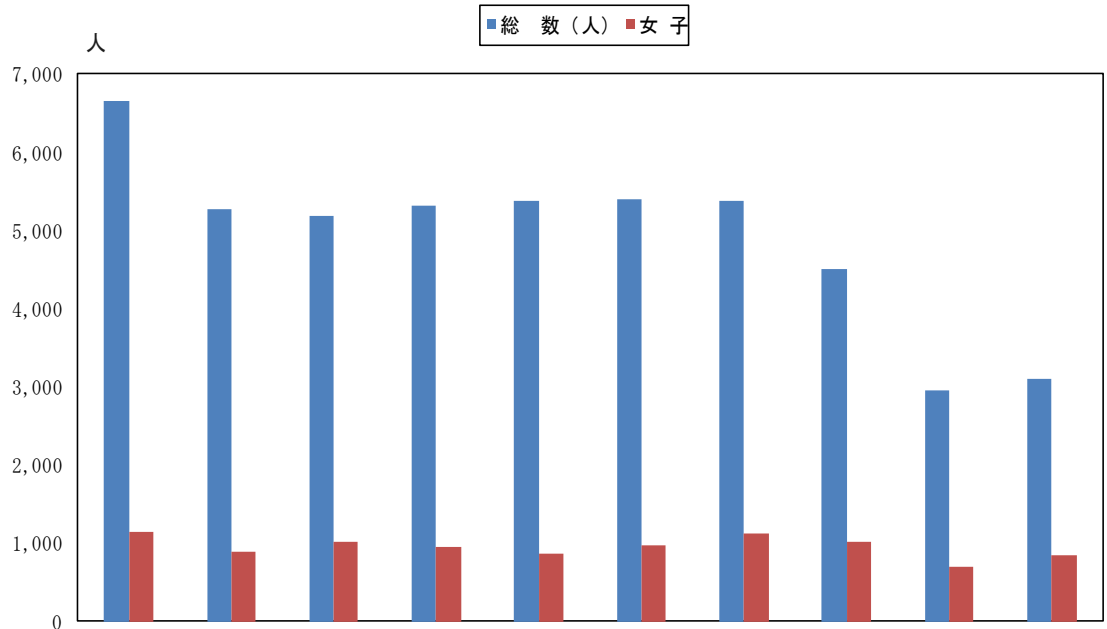
触法少年（特別法）の補導人員は、令和3年は6人と、前年より2人（50.0%）増加しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	26	25	9	11	3	18	8	5	4	6
軽犯罪法	18	19	7	7		10	4	4	3	5
鉄道営業法		1		4		2	3			
児童買春・ポルノ禁止法		1	1		3	2		1		1
迷惑防止条例	1	1	1							
その他	7	3				4	1		1	

第5 不良行為少年

不良行為少年の補導人員は、令和3年は3,096人と前年より137人（4.6%）増加しています。



区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
総数(人)	6,653	5,270	5,189	5,311	5,381	5,404	5,385	4,507	2,959	3,096
女子	1,146	895	1,016	948	875	973	1,120	1,025	699	844
飲酒	160	144	155	174	163	144	156	160	199	245
うち女子	44	47	36	34	27	31	23	41	61	95
喫煙	1,614	1,244	1,258	1,312	1,137	1,072	1,061	832	840	1,014
うち女子	136	113	97	137	72	74	119	83	126	151
粗暴行為	189	185	165	212	314	188	148	69	139	138
うち女子	21	19	21	17	50	27	22	18	15	32
暴走行為	91	102	138	112	258	147	118	94	97	59
うち女子	14	7	10	5	15	12	9	4	8	4
深夜はいかい	3,961	3,064	2,957	3,080	2,926	3,403	3,522	3,068	1,427	1,215
うち女子	787	565	683	644	535	695	821	775	380	373
怠学	218	228	214	152	164	169	146	100	76	105
うち女子	64	67	63	44	54	61	42	40	29	42
不良交友	300	203	183	121	152	134	73	68	80	100
うち女子	45	28	52	16	20	19	17	18	24	31
その他	120	100	119	148	267	147	161	116	101	220
うち女子	35	49	54	51	102	54	67	46	56	116

第6 少年の被害状況

1 刑法犯被害少年

刑法犯被害少年は、令和3年は576件と、前年より78件（11.9%）減少しています。

区分\年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	
少年被害件数	2,637	2,474	2,182	1,710	1,486	1,313	1,198	940	654	576	
凶悪犯	0～5歳	1	1	1		1		1	1		
	6～12歳			2	1	1		1		1	
	13～19歳	5	7	7	10	5	2	5	4	8	
	計	6	8	10	11	7	2	7	6	6	9
粗暴犯	0～5歳	3	2	1		1	2	1	3	5	
	6～12歳	4	8	3	10	8	7	10	16	9	5
	13～19歳	111	106	68	74	61	58	60	47	31	32
	計	118	116	72	84	70	67	71	66	40	42
窃盗犯	0～5歳										
	6～12歳	82	101	71	58	47	33	24	22	15	12
	13～19歳	2,157	2,017	1,814	1,362	1,223	1,055	966	756	510	434
	計	2,239	2,118	1,885	1,420	1,270	1,088	990	778	525	446
知能犯	0～5歳										
	6～12歳										
	13～19歳	5	7	8	7	10	15	14	10	3	2
	計	5	7	8	7	10	15	14	10	3	2
風俗犯	0～5歳		2		1						
	6～12歳	10	6	6	11	16	14	11	5	17	12
	13～19歳	72	53	43	62	58	58	40	35	23	30
	計	82	61	49	74	74	72	51	40	40	42
その他の 刑法犯	0～5歳			1	2	1		3	1		
	6～12歳	9	6	2	2	3	1	1	1	3	1
	13～19歳	178	158	155	110	51	68	61	38	37	34
	計	187	164	158	114	55	69	65	40	40	35

2 児童買春・児童ポルノ被害

児童買春・児童ポルノの被害児童は、令和3年は17人と、前年より6人（26.0%）減少しています。

区分 \ 年		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
児童買春	検挙件数	6	11	17	22	13	10	11	12	3	8
	検挙人員	6	11	17	20	13	9	11	11	3	8
	被害児童	6	7	13	13	11	7	9	7	2	3
児童ポルノ	検挙件数	31	25	32	27	37	44	44	55	42	44
	検挙人員	30	25	31	24	39	43	42	45	35	36
	被害児童	7	10	12	16	21	17	18	19	21	14
被害児童総数		13	17	25	29	32	24	27	26	23	17

3 児童虐待

警察から児童相談所に通告した児童数は、令和3年は1,067人と、前年より179人（14.4%）減少しています。

区分 \ 年	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
通告児童数	175	297	367	540	775	850	1,003	1,133	1,246	1,067
身体的虐待	76	119	130	159	203	185	200	242	254	183
性的虐待	0	4	1	3	5	3	2	2	1	2
ネグレクト	8	8	28	53	56	52	59	53	65	46
心理的虐待	91	166	208	325	511	610	742	836	926	836

ヤングテレホン

非行問題やいじめなど少年に関する悩みごとの相談

★ 24時間受付

- 少年サポートセンター（警察本部人身安全・少年課内）
026-232-4970

★土・日・祝日を除く

午前8時30分から午後5時15分

- 長野中央警察署 026-241-0783
- 上田警察署 0268-23-0783
- 伊那警察署 0265-77-0783
- 松本警察署 0263-25-0783



長野県警察シンボルマスコット
「ライポくん」「ライピィちゃん」